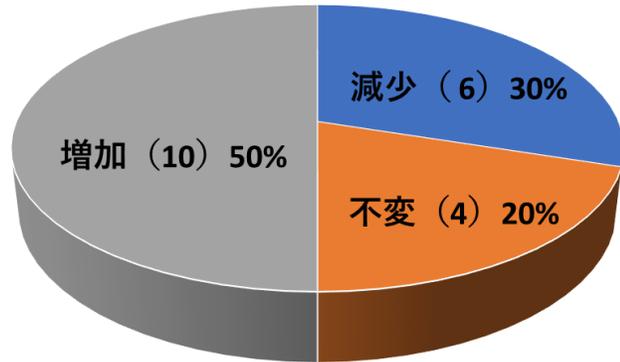


令和5年度景況調査

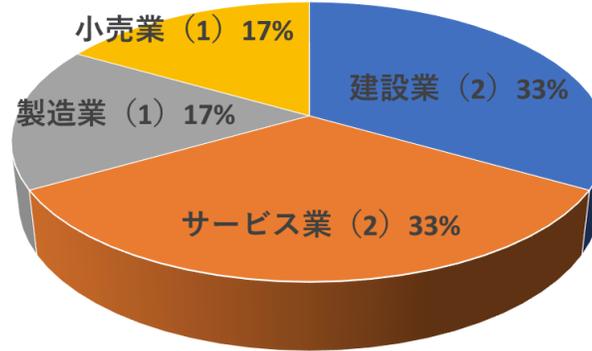
第二四半期(7月～9月)

①調査結果

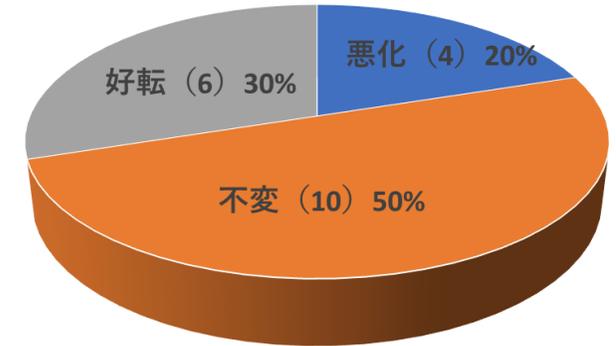
売上高の状況（前年比）



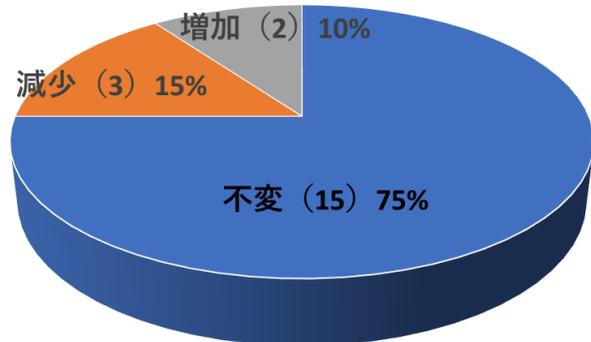
売上高減少企業の業種



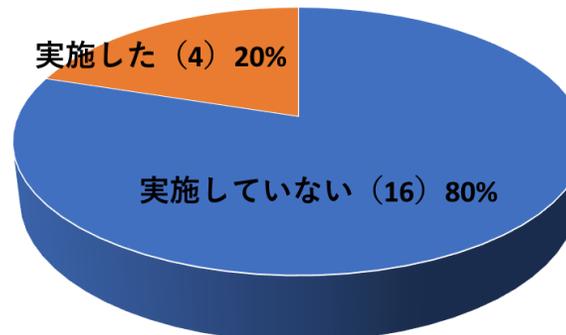
経常利益の状況



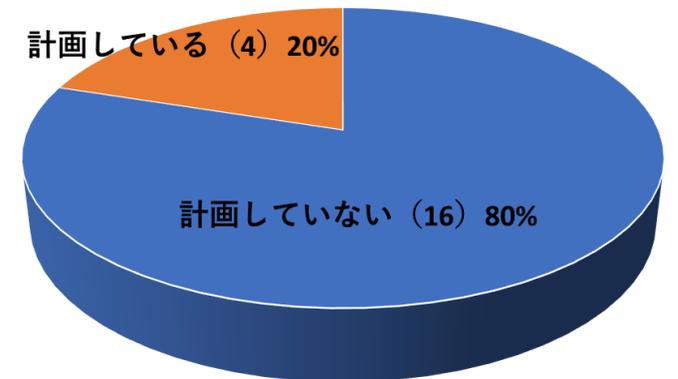
従業員の状況



設備投資の実施（今期）



設備投資の計画（来期）



②分析結果

売上高については、20社のうち10社が前年同期と比較して増加しており、約3割が「減少した」と回答しています。業種ごとに見ると、売上が減少したと回答した6社のうち建設業が2社、サービス業が2社となっており、次いで製造業、小売業が1社ずつ回答しています。

経常利益については、「悪化」と回答した事業者は、前回調査から2社減少しているものの、「好転」と回答した事業者は全体の3割に留まっており、依然として続く物価上昇によりコストが増加傾向にあります。

設備投資については、今年7月～9月期に設備投資を行ったと回答した事業者は2割となっています。また、来期（令和5年10月～12月）に「計画している」と回答した事業者についても2割に留まり、前期に引き続いて現状維持の経営を行う傾向が強いことが窺えます